

●**混迷しつつある世界情勢**

- ・世界は、ウクライナ戦争に加えてパレスチナ紛争が激化し、不信と分断により双方とも一向に収まる気配がありません。一方で本年は、先進国関連の議会総選挙結果も混沌とし、更に11月には米国大統領選挙を控え、今後の世界情勢には目が離せません。
- ・国内でも岸田政権の支持率が低迷し、今秋の自民党総裁選挙を控え、愈々国政の先行きが見通せない不安にかられます。早く国内政治が安定して欲しいものです。
- ・企業でも言えることですが、常日頃から後継者を育成しておくことは肝要です。

●**パリオリンピックの開催（7月26日～8月11日）**

- ・7月下旬から始まったパリオリンピックも、平和の祭典として連帯を象徴する素晴らしい行事ですが、本来、一般市民が素直に喜べる世界の安定こそがその基礎になければなりません。一刻も早くそうした希望の光が射し、少なくとも女性、子供を含む一般市民が巻き添えにならない日常レベルまでに状況回復してほしいものです。

●**明るいシステム倶楽部の今後の動き；明るいセミナーの開催について**

- ・9月17日(火)、12月2日(月)、翌年3月3日(月)を予定しており、ご期待下さい。

< **8月の送付物** >

- ① 日本一明るい経済新聞 8月号
- ② 年会費納入のお願い（該当者には別途郵送の予定です。）



明るいシステム
倶楽部
ホームページ

< **夏季休暇のご案内** >

- ・8月13日(火)から16日(金)まで、事務所は休業いたしますのでご留意ください。

< **8月の主な活動予定** >

8/3(土)	気楽な ZOOM サロン(44)	当倶楽部会員専用の交流の場です	20:00～21:30
8/21(水)	役員会議(49)	令和6年度通常総会の結果を受けて	14:00～15:00
8/21(水)	明るいシステム検討会議(32)	「明るいシステム」の整理・分析	15:20～16:20

AKS 市民大学 (ZOOM 形式)

8/14(水)	菊池教室(43)	感性を育む和学講座「お盆・月見」	20:00～21:30
8/24(土)	宮崎教室(47)	「あっ！と驚く問題解決法」	20:00～21:30
8/27(火)	柴原・松居教室(36)	「テーマ；未定」	20:00～21:30

「地域での交流・コミュニケーション」初心者編

明るいシステム倶楽部会員 黒田 能弘 (くろだ・よしひろ)

前・前々回の原稿にて、少しずつ「地域の底力」なるものを紹介させていただいています。

小生（おひとりさま）にとって、2年前の脳出血手術により、マンションの一室での突然の体調不良（椅子から立ち上がったから、まっすぐに歩けない症状・・・）。

それでも、何とか電車に乗って、小生がかってに「かかりつけ医」として信頼しているクリニックにたどり着いたのです。待っている患者さんが多く、約1時間CTスキャンでの診察後、紹介状を書くからと、タクシーを呼んでもらって大病院に緊急入院・手術、2泊3日ぐらいで無事退院することができました。お蔭で後遺症もなく元気です。突然にこんなことになるなんて、「おひとりさま」の小生は、それ以降、ご近所で知人・友人を作ることの必要性を痛感したのです。

1年後、住まいする大阪・中央区の広報紙による、「健康づくりパンジーの会」に入会し、その回の数少ない男性・町会長の同輩に声をかけられ、近くの「中大江公園愛護会」と「老人会」にも入会の手続きをとったのです（今までは、まったく関心がなかったのですが・・・）。

この4月からは、前記2会からは、行事の案内やら地域のボランティア活動に積極的に参加し、新鮮な活動に、そして数少ない男性陣にも好感もてる同輩がおられ、良く会話をすることになりました（今までは、挨拶さえしなかった人たちとスーパーでばったり会ったりします）。

小生が「おひとりさま」だからでしょうか。地域での交流・コミュニケーションの大切さを味わっております。ご近所に知り合いがいることは、安心感というか、自分の居場所があることに気づいています。先日、皆さんと堺市の大仙公園に行ってきました。写真は、仁徳天皇陵古墳、千利休像、日本庭園などです。



「生前活！アドバイザー」 兼 NPO法人高齢者・障がい者後見人の会 代表

◆西国三十三所札所巡り旅 (24)

西国 第22番札所 総持寺

補陀洛山 総持寺 (大阪府茨木市)

本尊：千手観世音菩薩

明るいシステム倶楽部会員 阿久根芳臣

行程：大阪市内から 30 km (梅新東～新御堂筋～中央環状線～国道 171 他地道を色々)

近年、宅地開発されたマンションに囲まれた小高い丘に建つ高野山真言宗のお寺さんで JR 総持寺駅と阪急総持寺駅を結ぶ街中の道を何回か細かく曲がりたどり着く。このあたりの地理に明るくない私は方向感覚を失ってたどり着いた。(多分、来た道をたどれないだろう)

市街地の“ど真ん中”にあるお寺さんだが、周りの空間の見通しは結構明るく広い。小高い丘の上に建つからなのかなと私は感じた。二十段ばかりの石段を上がって山門をくぐると、正面の向拝を構えた建物が、豊臣秀頼の再建になるという本堂だ。境内は思ったより広く太師堂、金堂などが立ち並び、ぼけ封じ近畿十楽観音の六番札所になっている普悲観音像も立っているので私としては尚、丁寧にお参りしたい処だ。

本堂向かって左には、総持寺開基の中納言・藤原山蔭を祀った山蔭流庖丁式殿がある。

山蔭は藤原鎌足から八代目に当たる人で、日本庖丁道の祖にして料理の名手であり、京都の吉田神社の創建者としても知られる。

山蔭流 (四条流) 庖丁式とは、食材の魚に直接手を触れず、はしと庖丁だけでさばく儀式料理の技で藤原山蔭を開祖とする。日本料理の祖ともいわれ料理関係者の信仰も厚い。毎年四月十八日には全国から料理人が集まり、古式ゆかしい烏帽子直衣姿で、庖丁とまな箸で鮮やかにさばいた活け造りを奉納する。テレビのトピックスニュース等で報道されている。

ぼけ封じ 普悲観音

境内はけっこう広い

織田信長の茨木合戦の時、この寺も殆ど焼き尽くされたが、本尊の千手観世音菩薩は被害を免れ今でも毎年四月十五日から 1 週間だけ開扉される。



空が拡げて感じる正面

石段の上に建つ楼門形式の山門

豊臣秀頼の再建とされる本堂



< ケンカの仲裁 — 1 >

明るいシステム倶楽部 理事 宮崎 英二

(受講者のひとり／加藤タケシさんの事例紹介)



先日、駅に着いて駐車場に向かうとき、何やら異様な怒号が！
「こらあ！おれを誰だと思ってるのかこのやろう」

コワモテの兄さんが若いお兄さんに怒鳴っていたのです！若いお兄さんは転んでいて、なおも足蹴にしようとするところへ、見るに見かねたおじさんが1人、仲裁に入っていました。しかしコワモテ兄貴は「うるせい！お前は黙ってる！こいつが悪いんだ！」とおじさんにまで大声で怒りながら、パンチを繰り出そうという構え、せっかくの勇氣ある行動も火に油を注ぐことになりかねない様子でした。

周りの人たちは遠巻きに見ているだけで、他に誰も割って入る感じもありませんでした。このままでは暴力事件になってしまうので、ここで黙って通り過ぎるわけにはいかない、ハピネス的仲裁をしなければ・・・と、正義のタケシ（私）が考えたのは

『3択、ひとつだけ選びなさい』

- 1、正義のタケシは、突如仲裁のアイデアがひらめき、実行する。
- 2、若者の仲間がきて助けてくれる。
- 3、助けはこない。現実是非情である。

これ、ジョジョに出てきた3択（笑）ではなく、正義のタケシがひらめいた答えは、『ハピネス理論で、仲裁する』でした。

正直、なぜ争いが起こっているのかはよく分からなかったのですが、このコワモテ兄貴の感情と気分をリバース（裏返し）するしかないというのが、このひらめきの主旨です。

ふたりのやりとりが耳に入ってきた感じを要約すると、こんな感じです。

- ①すれ違いざまに肩が触れたことがきっかけで、口論になり、
- ②コワモテお兄さんが、『こらあこの野郎！謝れ！』と睨んで威嚇した
- ③若者は、怒鳴り返してきた。
- ④その態度にカチンときたコワモテは胸ぐらをつかんでさらに威嚇。
- ⑤若者は負けずに突き倒そうとした。
- ⑥コワモテは腕力で押し倒した。
- ⑦倒された若者は、『くっそー！おれは悪いことしてない。このバカ野郎！』

このとき二人の思いは・・・

コワモテ「おれをなめるな。お前みたいなちよろいやつになめられてたまるか」

若者 「なんだと！負けてたまるか。やり返してやる」

コワモテ「わからないのなら、痛い目に合わせてわからせてやる！」

というような思いが頭の中をぐるぐる回っていたのでしょう。

出来事視点の分析では「怒りの感情の爆発」です。精神・思いの視点（ハピネス視点）では、「ケンカ・暴力は良い結果を得られない。向上し合える出会いを求めている」となります。ケンカや仲たがいの場合、後者の思考仲裁法で対応しなければ解決にならないのです。

さて、その仲裁法とはどのような方法なのでしょうか。（次回に続く）